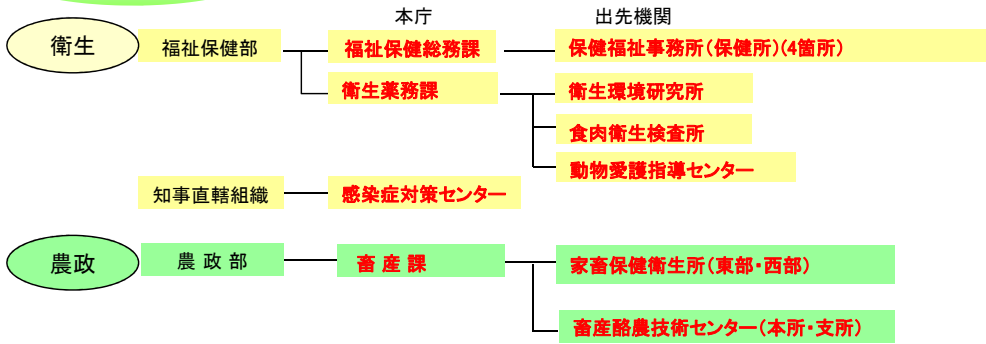


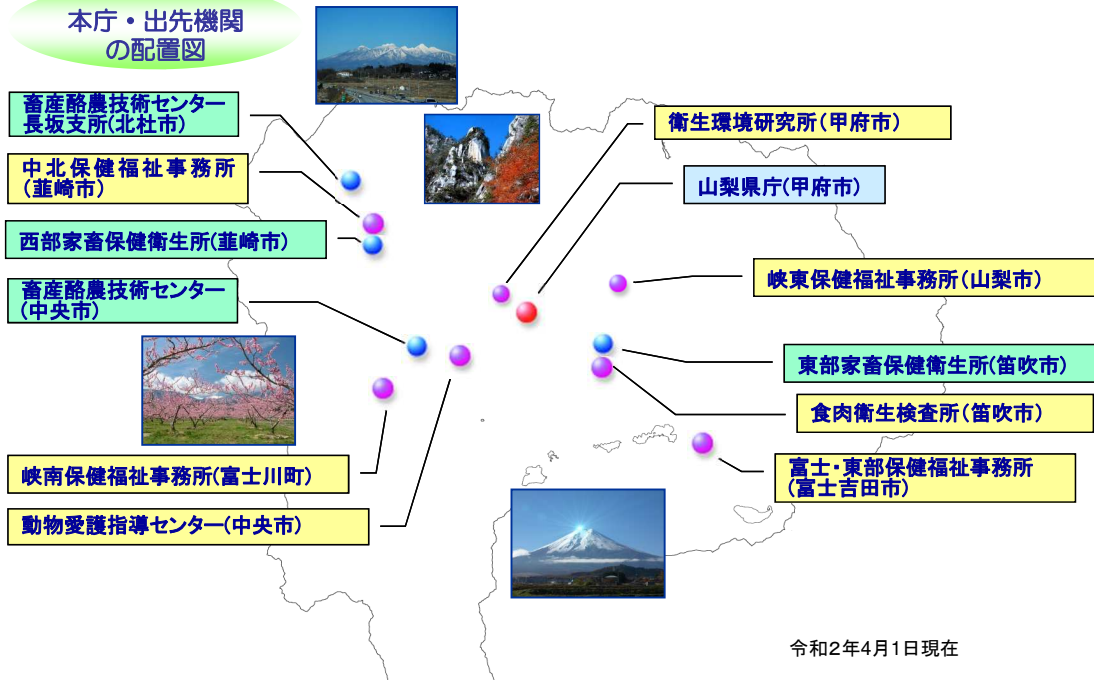
採用後の配属先



- 山梨県職員の獣医師の配属先は、衛生分野を担当する福祉保健部、農政分野を担当する農政部に分かれます。
- 福祉保健部の獣医師は、主に「衛生業務課」「保健福祉事務所(保健所)」「衛生環境研究所」「食肉衛生検査所」「動物愛護指導センター」「健康増進課」に勤務します。
- 農政部の獣医師は、主に「畜産課」「家畜保健衛生所」「畜産酪農技術センター」に勤務します。
- 衛生分野と農政分野の人事交流も行っています。

OR4.4.1から、初任給調整手当の支給対象になりました。

本庁・出先機関の配置図



令和2年4月1日現在

—山梨県職員 獣医師 の採用や募集に関するお問い合わせ先—

山梨県 福祉保健部 福祉保健総務課 総務経理担当 TEL 055-223-1441
 農政部 農政総務課 総務経理担当 TEL 055-223-1581
 〒400-8501 甲府市丸の内1丁目6-1 <http://www.pref.yamanashi.jp>

山梨県職員「獣医師」の紹介



公務員の獣医師として 社会や地域に貢献する

家畜の衛生対策や畜産業・農家の支援、「食」の安全・安心の確保、感染症対策、動物用医薬品の安全対策、動物の愛護や管理など、県職員の獣医師の業務は多岐にわたり、県民の身近な生活に広く関わりをもっています。

衛生・農政分野ともに様々な職場や業務の経験を通じて、幅広く知識・技術を習得しキャリアアップできます。公務員獣医師は、社会に貢献する職責を担っており、責任と使命感、やりがいを感じることができます。



高病原性鳥インフルエンザ防疫演習



離乳豚へのCSFワクチン接種

●大自然に囲まれ、美味しいものも豊富な「やまなし」で働きましょう！

世界遺産の富士山やハケ岳、エコパークの南アルプスと甲武信のユネスコエコパークなど日本を代表する名峰に囲まれた山梨には、国際的な観光スポットが数多くあります。

雄大なパノラマを眺め、休日には自然に触れながら、ゆったりした気持ちで山梨で働いてみませんか。



山梨は、日本一のワインの産地でもあります。ワイン製造の歴史や伝統、それに関わる人の情熱などによって今日のワインづくりが支えられています。

ワインのように、これからの社会人生活を山梨でゆっくりと「醸成」してみませんか。

また、ブドウ、桃も日本一！ 果樹王国山梨ならではの「味覚」も薦めます。



先輩職員の1日のタイムスケジュール

動物愛護指導センター 赤塚 唯 主任

負傷動物の処置



子猫への投薬



8:30 8:45 10:00 12:00 13:00 15:00 16:00 17:15

登庁	収容動物の処置 投薬	飼育方教室の開催	昼休み	動物取扱業の監視	相談	ミルクボランティアからの	収容動物の処置 投薬	退庁
----	------------	----------	-----	----------	----	--------------	------------	----

東部家畜保健衛生所 小林那美香 主任

採血



(定期検査)

抗体検査



8:30 9:00 10:00 12:00 13:00 16:00 17:15

登庁	検査用具の確認 農場へ出発	農場で採血	昼休み	所内検査(抗体検査)	防疫対策の計画 検査結果報告書作成	退庁
----	---------------	-------	-----	------------	-------------------	----

衛生分野の職場紹介

▼食肉衛生検査所

安全で安心して食べられる食肉を提供するため、と畜場、食鳥処理場に出荷される家畜の疾病の排除、と畜場・食鳥処理場の衛生指導や食肉の衛生に関する調査・研究を行っています。



▼保健福祉事務所(保健所)

動物の愛護及び管理に関する業務のほか、食品衛生や薬事、生活衛生に関わる許認可や監視・指導、食中毒防止対策、薬物乱用防止啓発など、多岐にわたる業務に対して、様々な職種と共に取り組んでいます。



▼動物愛護指導センター

動物愛護の推進や適正飼養の普及啓発のため、動物愛護教室や犬猫の飼育教室を開催しています。また、犬猫の引取りや譲渡、負傷動物の処置なども行っています。



▼衛生環境研究所

食中毒の発生時の微生物検査、新型インフルエンザなど感染症等の微生物検査や微生物に関する調査研究など、保健衛生の向上や生活環境の保全を図るための業務を行っています。



山梨県職員を志す皆さんへ 先輩職員からメッセージです!



赤塚 唯 主任

動物愛護指導センター

H27.4 食肉衛生検査所採用
H29.4 峡東保健福祉事務所
R2.4 動物愛護指導センター(中北保健所兼務)

◆現在の仕事

収容動物の健康管理及び治療、動物の引取り及び処分、動物の譲渡事業、動物愛護の普及啓発事業など

◆現在の仕事のやりがい、魅力

収容された動物たちが新しい家族を迎えられることを見届けられるときが一番嬉しいですね。

◆今までの業務の中で印象に残っていること

私がセンターに赴任した年からミルクボランティア事業が始まりました。それまで、ミルクを飲むほどの子猫は致死処分対象でしたが、ボランティアに育てていただいで譲渡ができるようになり、譲渡と処分の比率が逆転したことです。

◆公務員獣医師になった理由

数年毎に異動があり、様々な業務を経験できるため、自分の適性を見極めやすいと思ったからです。

◆仕事を通じて成長を実感できた経験

引取りや処分は動物が好きならば目を背けたことかもしれません。でも、センターにいるからこそ、動物たちのために、してあげたいこと、やりたいことが見えてきて、獣医師としてのやりがいを感じます。

◆今後の目標

引き取られる犬猫の収容と致死処分を限りなく減らすことに貢献できればと思います。

◆山梨県の魅力!

山に囲まれています。各地域毎に特色があり、暮らしやすいところです。今の職場は温泉総選挙絶景部門1位になった「みたまの湯」が近いので、仕事帰りに温泉に入れる、そんな贅沢な時間を過ごせます。



齋藤那美香 主任

東部家畜保健衛生所

H28.4 畜産酪農技術センター採用
H31.4 東部家畜保健衛生所

◆現在の仕事

防疫薬事課で家畜伝染病の発生予防防止や発生予防のための検査・指導、動物医薬品販売業の許可・更新事務、獣医事に係る事務など。

◆現在の仕事のやりがい、魅力

家畜伝染病の検査や防疫対策ではプレッシャーのかかる判断もありますが、発生予防や感染拡大防止のため重要性の高い仕事だと感じています。

◆今までの業務の中で印象に残っていること

日本で26年ぶりの発生となったCSF(豚熱)が県内でも発生し、防疫措置を行ったことです。

◆公務員獣医師になった理由

産業動物の分野において専門性も活かしつつ、幅広く仕事に取り組みたいと思ったからです。

◆仕事を通じて成長を実感できた経験

実際の仕事の中で、教科書で習得した知識等が繋がる時があり、さらに仕事を通して成長していきたいと感じます。

◆今後の目標

家畜伝染病の侵入防止や蔓延防止対策等を通じて、生産現場での対策や消費者への安全な畜産物の提供に貢献していきたいです。

◆山梨県の魅力!

山梨県は自然豊かで食べ物もおいしい魅力いっぱいの県です。ぜひ、山梨県に足を運んでみてください。



農政分野の職場紹介

▼家畜保健衛生所

東部と西部の2所があり、安全でおいしい山梨県産食肉を生産するため、畜産農家を巡回し農場の衛生管理や家畜の健康管理指導、家畜伝染病の発生予防対策、家畜疾病の病性鑑定、動物用医薬品の販売許可などを行っています。



【本所】

7年の歳月をかけて完成した「フジザクラDB」(写真左)をもとに、農家において銘柄豚「甲州富士桜ポーク」が生産されています。(写真右は銘柄鶏「甲州地どり」)



▼畜産酪農技術センター

【長坂支所】

牛の改良増殖や受精卵移植技術の研究開発、牧草や飼料作物の品種改良、放牧技術試験などを行うとともに、牛の性別別済み受精卵の農家への供給も行っていきます。



▼感染症対策センター【本庁】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に、ヒトの感染症対策の指令塔機能を担う知事直轄組織として令和3年4月に設立され、県民の健康を守る業務や事業を行っています。

